

みんなで考える。いつしょにつくる。 ～あたたかい街 平野区をめざして～



**「生活」は、私たち
自身のもの**

コードイネーター
大阪府立大学社会福祉
学部専任講師 藤井博志

戦後、これから日本の
国を作つていこうとい
う時に、ひとつは税金を払
つて行政の手によって福
祉が進められるというこ
とが決められました。し
かし、日々の生活、地域
の生活というのは、行政
のものではなく、私たち

それを解決していくお金
をみんなで出し合おう、
とできたのが、共同募金
です。そして、そのお金
を話し合つて使う場とし
てできたのが社会福祉協
議会です。

しかし、平野区全体で
は、地域の困り事がよく
見えないので、住民が協
力しやすいエリアでミニ
社協をつくろう、とでき
たのが地区社協です。

そういう歴史がある中
で、これから地域福祉が
重要になるというときに、
地域の方にお願いした
徘徊の主人を捜し回る
日々でしたが、お隣の方
にデイサービスを教えて
いただき、通うようにな
った半年後、不思議と徘
徊がとまりました。お隣
の方に教えてもらつてい
なかつたら、私は倒れて
いたかもせれません。

午後は、食事サービス
や敬老行事、日常生活支
援など、各テーマについ
て深めるため、分科会が
行われました。各分科会
でグループ討議などが行
われ、さまざまな意見が
交わされました。

最後の全体会では、コ
ーディネーターが、「み

午前中のパネルディス
カッションでは、まず、
コーディネーターから、
社協がつくられた経緯や
趣旨、役割などについて
お話しがありました。そ
の後四人のパネラーから
それぞれの立場でお話し
いただきました。

ですから、行
政もするけれ
ど、住民の役
割もちゃんと
考えよう、と
整うのは時間が
かかるので、
まずは自分た
ちで解決して
いかなければ
なりません。

さまたま相談の中に
は、ちょっとした困り事
もあり、ご近所の方に相
談したいけれど、近隣へ
の気兼ねから、頼みづら
いといった例も
あるようです。

また、高齢で杖をついて歩い
ている方も、やり甲斐をもつて
掃除の活動をさ
れている例があ
ります。お年寄
りも、サービス
を利用するだけではなく、
それができることがた
くさんあると思います。

このような、ちょっと
したことで困っている、
また、何かお手伝いした
い、という人が相談でき
る窓口が地域の中にあれ
ば、地域に密着したお互
い様活動ができるのでは
ないでしょうか。

午後は、食事サービス
や敬老行事、日常生活支
援など、各テーマについ
て深めるため、分科会が
行われました。各分科会
でグループ討議などが行
われ、さまざまな意見が
交わされました。

最後の全体会では、コ
ーディネーターが、「み

十月二十八日（日）、平野区民センターにおいて、地区社協活動研究会が開催されました。平野区内二十一地区社協から、役員やボランティア約百五十人が参加し、社協活動について、みんなで考える時間をもちました。

午後は、内容の濃いパネラーの発表に熱心に耳を傾けます。

**お互い様活動を
広げよう**

パネラー②
コーディネーター
ボランティア・ビューロー
「ボランティア・ビューローの活動と地域との連携について」

今後、土曜日が全部休みになるため、地域で過ごす時間がが多くなります。また、教科の枠を越えた総合的な学習が新しく増えます。そんな状況の中、地域の教育力が期待されており、学校と地域との連携が重要になります。

そのため、学校からもっと情報を発信し、また地域の意見を学校教育に取り入れていきたいと思します。学校と地域が一緒に子どもを育て、その子と情報を発信し、また地域の意見を学校教育に取り入れていきたいと思します。学校と地域が一緒に子どもを育て、その子

改めて、社協の役割が問われています。地域福祉となると、地域によってきます。住民がどれだけ福祉に関心があるかないかで、住みよいか住みよいかが決まります。

ですから、地区的社会福祉協議会をどれだけ強化していくかが、二十一世紀の福祉をかなり決めていくと言えるでしょう。

おたがいの人権守って 明るい平野区



平野区人権啓発推進協議会

**地域の
教育力に期待**

パネラー③
喜連北小学校長
松井由紀子
「学校と地域との
関わりについて」

いことは、お年寄りは閉じこまるので、訪問して、お顔を見て、いろいろなことを教えてあげてほしい。そして、とても恐縮されるので、サービスを受けることを勧めてあげてほしいと思います。

地域の方にお願いした
徘徊の主人を捜し回る
日々でしたが、お隣の方
にデイサービスを教えて
いただき、通うようにな
った半年後、不思議と徘
徊がとまりました。お隣
の方に教えてもらつてい
なかつたら、私は倒れて
いたかもせれません。

このような参加型の研

だれかのために、できること。

ただ今、三宅島災害義援金を受け付けております。

《取り扱い方法》
(郵便振替口座)
三宅島災害義援金
口座名義「日本赤十字社東京都支部」
口座番号「00130-5-7883」

※通信欄に「三宅島災害義援金」と記入して下さい。

国際活動、災害救護活動、医療事業、看護婦養成、血液事業、救急法・家庭看護法等の講習、赤十字奉仕団、青少年赤十字、社会福祉事業

日本赤十字社大阪府支部平野地区

にこにこセンター定例行事の お知らせ

おもちゃ図書館「にこっと」

毎月第2土曜日 午前10時30分～午後2時

障害をもつ子どもや、お友達と遊ぶのが苦手な子どもたちが、親や兄弟、ボランティアと一緒に遊びに来ています。年齢制限はありません。気軽に遊びに来てください。

子どもたちと一緒に遊んだり、通信をつくり、行事の企画をしたりしてくださるボランティアも募集しています。

サロンひらの

毎月第4土曜日 午後1時30分～午後4時

子どもも、お年寄りも、障害のある方も、若者も、みんなで楽しむことをしましよう、という集まりです。映画をみたり、料理を作ったり、おしゃべりをしたり、時にはカラオケも。どなたでも参加していただけますので、いろんな方と交流しませんか。会場や時間が変わることがありますので、事前にお問い合わせください。

お問い合わせ：にこにこセンター ☎06-6795-2525

住民どうしだからこそできる ふれあいの活動

—さまざまな地区社協活動—

十月に開催された地区社協活動研究会(一面に記事掲載)で、各地域の取り組みを平野区全体で共有し、深めることにより、さらなる活動の発展を目指しました。では、実際に各地域でどのような取り組みがされているのでしょうか。ほんの一部ではありますが、ご紹介しましょう。

手作りの食事に心をこめて

エプロン姿がよく似合う

《食事サービス(ボランティア調理)》

《男性料理教室》

《女性料理教室》

加美北社会福祉協議会では、平成十一年度から月一回、食事サービス活動を始めました。初めは業者調理のお弁当でした。が、一度自分達で作つてみました。広い厨房などありませんから、外に机を出して天ぷらを揚げたり、廊下に机を並べて盛り付けたり、と工夫しながらの調理でした。やはり手作りの温かい食事は好評で、「試しに手作りしてみたけれど、お年寄りが楽しみにされるので、やめるわけにいかなくなってしまった……」と、食事サービス委員長は笑顔で言います。

毎回、食事会終了後にボランティアで次回のメニューについてアイディアを出し合い、買い出しなどを分担しています。一人暮らしと高齢者世帯などにも対象を広げたいと考えています。

か食べられないでしようから、と十一月のメニューは、ぜひお立ち寄りいた



分担して、手際よく調理が進みます。

中華のメニュー



厨房の中は、いい匂いと楽しいおしゃべりで

楽しいひとときを過ごし、男性の高齢者を

帰る時には、「来月も楽

しみにしています」「こ

を開催していま

うやつて出てくる所があ

るのがいいわ」と参加者

からボランティアに声が

かけられます。

現在、会場の広さの都

合上、一人暮らしの方に

限らざる

を得ませ

んが、将

来的には、

昼間独居

の方や高

齢者世帯

などにも

対象を広

げたいと

考へてい

ます。

区役所に行かれた時に

は、ぜひお立ち寄りいた

ます。

お年寄りにも喜ばれてい

ます。

お年寄りにも喜ば

今、自分達にできること

介助など自分たちのできることで関わっています。四十から七十代までの方が多く、定期的に開く懇談会の中で活動の悩みなどを話し合い、和気あいあいと活動しています。十一月より送迎サービスの車が二台となり、以前よりも活動内容の幅が広がるよう期待しています。「今まででは軽自動車で乗れる人数も限られていました。少し乗車人数

地域の中には、子どもや大人、高齢者などさまざまな方が暮らしています。中にはさまざまな障害をもち、何らかの不便を感じている方もいます。誰もが安心して暮らせるよう、身近なところから自分にできることを始めてみませんか。趣味や特技から何か見つけてみるのも一つの方法ではないでしょうか。

区社協では、車いすで移乗できない方に送りサービスを実施し、そよな方に、車いすのま乗りこめる車の貸ししゃ運転手がない場合はボランティアが運転しています。

現在送迎サービスに

ボランティア
ビューローだより

66795-2200

多くの人に情報を（音訳）

ら移乗できない方に送迎サービスを実施し、そのような方に、車いすのまま乗りこめる車の貸し出しや運転手がいない場合はボランティアが運転しています。

も利用してもらえ
は?」とボランテ
達の期待も高まり
す。

車いすでおでかけしませんか。

代表 田中ムツヨ
六七〇九一七七七〇

対象に、俳句・園芸などの趣味の本や、電気製品の説明書などの日常生活

現在、シリーズで趣味の
本なども製作中です。

また子どもを持つ視覚障害の親に童話の本を貢献したこともあるそうですが

十年ほど前から活動しているこのグループは、

に必要なものを点訳しています。

多くの人に情報を
（点訳）

◇ボランティア活動ってなに?

社会の中にはいろんな人が住んでいて、ちょっとした手助けを求めている人がたくさんいます。さあ、みんなが豊かになるために、今できることは何でしょう？自分以外にも、他にもいろいろなところに目を向けて他の人の事を考えられる気持ちが大切になります。自分にできるちょっとした活動、そんな事から始めてみませんか。

◆活動するまでの流れは…

ボランティア・ビューローの窓口まで来ていただき、希望内容などを受付します。希望される活動があればその場でご紹介しますが、定期的に郵送しているボランティア活動情報などからも興味あるものを選んで活動してもらっています。

身近な
ことから
思いやりの
輪を！

◇どれくらいの頻度で活動したらいいの?

ボランティア活動は、
自主的な活動なので、例
えば週1回、月1回など
自分のペースで活動しま
しょう。平日に活動が難
しい方でも、土日に行わ
れているイベント等に参
加されています。

◆どのような活動があるの？

例えば、子ども達との遊び相手、高齢者や障害を持った方の外出のお手伝い（車いす介助、付き添い、運転）、イベントのお手伝い、また、趣味や特技を活かして施設などで関わったりと、平野区内を中心にさまざまな活動があります。ぜひ、一度お問い合わせください。

◇活動中に事故にあった場合、どうなるの？

万一、活動中にボランティア自身がケガをした場合や相手にケガをさせてしまった、物を壊してしまったという場合には、あらかじめ加入していたているボランティア保険の範囲で対応します。

♪ボランティア・ビュー日って何？

区内のボランティア活動の窓口になります。ボランティア活動をしようとの応援を求むという人との思いと想いをつなげる役割を担っています。

年をとつても、いきいきと安心して暮らせる町づくりをめざす。

どんな活動をしているかネットワーク事務所に訪問し、お話をうかがいました。

瓜破地区

さざなみ会館の中にあ
る瓜破地区ネットワーク事務所では、社協や町会やボランティアの人達と一緒に「ふれあい喫茶」や「食事サービス」などお年寄りの方が多く集まる場を作っています。

多くの方に、参加していただけるように声をかけたり、迎えに行く等の活動をしています。その他、一人暮らしのお年寄りが、体調をくずしたり、閉じこもりがちに生活している等の連絡が入ります。ネットワーク委員・ふれあい員と一緒にネットワーク推進員に行き本人とお話ししたり、

さざなみ会館の中にあ
る瓜破地区ネットワーク事務所では、社協や町会やボランティアの人達と一緒に「ふれあい喫茶」や「食事サービス」などお年寄りの方が多く集まる場を作っています。

多くの方に、参加していただけるように声をかけたり、迎えに行く等の活動をしています。その他、一人暮らしのお年寄りが、体調をくずしたり、閉じこもりがちに生活している等の連絡が入ります。ネットワーク委員・ふれあい員と一緒にネットワーク推進員に行き本人とお話ししたり、



瓜破地区ネットワーク委員会
ふれあい員さんとともに

継続的に友愛訪問をすることもあります。また、ふれあい員が一人暮らしのお年寄りの家に夜、電気がついているか、毎日新聞等が取り込まれているかなど日々の見守りもされています。

また、二十七・六%を占める一人暮らしの五歳以上の方に平成十三年の八月に調査を行いました。連絡先や、健康状態、介護保険の申請状況などを教えていただきました。

次に、ネットワーク事務所には、介護保険・緊急通報システム・将来の生活について等、いろいろな相談があります。たとえば、介護保険サービスを利用している人が、ひとりになると不安になります。近所の方より最近姿を見かけないなどの緊急事務所に入ることもあります。そのような時には、

年をとつても、いきいきと安心して暮らせる町づくりをめざす。

ネットワーク活動

どんな活動をしているかネットワーク事務所に訪問し、お話をうかがいました。

ぬくもりネットワーク

喜連東地区

喜連東地区ネットワー
クでは、六十五歳以上の
お年寄りに、毎年、高齢者実態調査を実施してい
ます。平成十三年は一五
四一名でした。

喜連東地区

喜連東地区ネットワー
クでは、六十五歳以上の
お年寄りに、毎年、高齢者実態調査を実施してい
ます。平成十三年は一五
四一名でした。



喜連東地区ネットワーク事務所にて
お年寄りと楽しく懇談中

保健医療福祉ネットワーク推進員



瓜破地区
前平さん



喜連東地区
森さん

ネットワーク委員・民生委員・ふれあい員・ネットワーク推進員が、連携してお年寄りの家に駆けつけることもあります。ネットワーク事務所が地域のよりどころとして信頼される場所となり、お年寄りが、安心して暮らせる町作りを目指してみんなで活動しています。

あなたのまちの相談窓口『ネットワーク事務所』(月~金・午前10時~午後4時)

地 区	場 所	電 話
平 野	平野連合会館	6791-6662
平野西	平野西会館	6796-4678
新平野西	新平野西コミュニティ会館	6701-2420
平野南	平野南老人憩の家	6705-7100
喜 連	喜連地域集会所	6797-7038
喜連西	喜連西老人憩の家	6705-2700
喜連東	喜連東老人憩の家	6797-9600

地 区	場 所	電 話
喜連北	喜連北老人憩の家	6700-4100
長吉東部	長吉東部会館	6706-8431
長吉長原東	旧大和川小学校	6700-3729
長吉六反東	六反東住宅集会所	6790-9128
長吉六反	六反会館憩の家	6701-8818
長吉西部	長吉西部老人憩の家	6701-7655
瓜 破	さざなみ会館	6702-5600

地 区	場 所	電 話
瓜破西	瓜破西老人憩の家	6790-2240
瓜破東	瓜破東老人憩の家	6700-3321
瓜破北	府営瓜破住宅33棟1階東	6705-8500
加 美	加美老人憩の家	6793-5215
加美南部	加美南部老人憩の家	6792-1093
加美北	加美北老人憩の家	6796-3955
加美東	加美東老人憩の家	6792-3321

※困ったときはお気軽にご相談ください。



豊かな長寿社会をめざして

平野区役所
健康福祉サービス課
高齢社会対策担当
☎ 4302-9857